



品質保証
だより

鳥インフルエンザ、お肉や卵は大丈夫!

ウイルスはどこから?

養鶏場の鳥インフルエンザ感染は、主に、菌やウイルスを保持した野生動物(ネズミや小鳥など)の侵入、接触が原因です。また、鶏のエサに触れることでウイルスが鶏の体内に入り、間接的に感染する場合があります。



渡り鳥が運ぶ



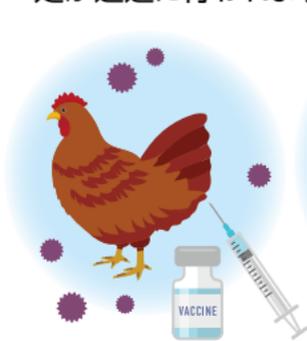
水鳥などに感染

ネズミや小鳥などを介して養鶏場へ



感染が判明したら

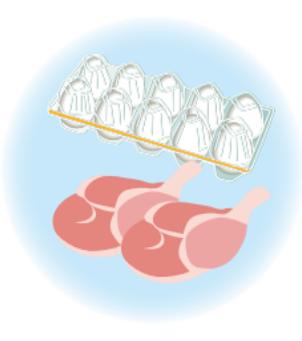
養鶏場で鳥インフルエンザ感染が確認された場合、以下のような対処が迅速に行われます。



発生した養鶏場の鶏はすべて殺処分



消毒・防疫管理の徹底



発生した養鶏場の出荷を制限



感染した鶏の肉や卵が市場に流通することはありません!

コープしがの対策

コープしがでは定期的に養鶏場の点検を行い、衛生管理や安全性を確認しています。

- ・野生動物の侵入対策は徹底されているか
- ・施設職員の衛生管理は適切にされているか
- ・施設内や周辺は清潔に保たれているかなど

もしも、鳥インフルエンザ感染などで出荷できなくなった場合は、別の養鶏場からお届けできるようにしています。

